レジメン名　**ドキシル＋Bev**

がん種　**卵巣癌**

一般名	投与量	単位
PLD	40	mg/㎡
ベバシズマブ	10	mg/kg

day　1 ・・・ 8 ・・・ 15 ・・・ 22 ・・・ 29 ・・・ 36 ・・・ 43 ・・・

4週で1クール

1クール　2クール

PLD：pegylated liposomal doxolbicin

治療内容

メイン

ルート確保用輸液は、所要時間に合わせて適宜速度調節する。
治療薬の投与中は中止可。
残破棄可。

5%ブドウ糖(250ml)

ルート確保

ドキシルのインフュージョンリアクションは投与開始から30分以内に起こることが多い。
急速フラッシュでも起こることがある。

ドキシル終了時に生食へ切り替え。
残破棄可。

生食(100ml)

ルート確保

投与終了後、異常がないことを確認し、抜去する。

アバスチンの投与時間が30分となる時点から、外来治療可

側管

経過時間

0

30分

グラニセトロンバッグ
デキサート　2A

:30

ⓘ

1

2時間

ドキシル
5%ブドウ糖(250ml)

投与量が90mgを超える場合は500mlのブドウ糖液に希釈

フィルター不可
通過しません

2

:30

全開

生食(50ml)　全開フラッシュ

3

ⓝ

:30

90分
→60分
→30分

アバスチン
生食(100ml)
初回治療時の認容性が良好であれば次回より、60分→30分と短縮可

4

:30

等速

生食(50ml)　等速フラッシュ
残破棄可

5

:30

6

:30

Day15は
ここから開始